

●ニュース
大学連携の
まちづくり提案
事業が始動!

いた便り No. 4

2007. 1. 1

岡崎まち育てセンター・りたは、市民活動を応援します。



シンク タンク

昨年12月17日(日)に、シビコ6階を活用して設置されている「21世紀まちづくり研究所」を舞台にして、『岡崎コミュニティデザインリーグ』が開催されました。これは、康生地区のまちづくりを進めている岡崎城下まち都心再生協議会が主催して実施されたもので、市内4大学を中心とした大学連携などにより、7つの岡崎まちづくりに関する研究提案が発表されました。

◆ ◆ ◆
康生地区内に建設中の「りぶら(図書館を核とした生涯学習施設)」の運営方法や、地区の再開発のあり方を提案するもの、商業地区の活性化を促すもの、など多彩な提案が寄せられ、熱い議論が交わされました。

◆ ◆ ◆
岡崎まち育てセンター・りたは、コミュニティシンクタンク(地域に根ざした政策提言組織)でありたいと考えており、これらの大学の英知がつながる活動に関しても積極的に支援してきました。学生さん達の若いエネルギーが岡崎を変える力になることを期待しています。



＜新年のご挨拶＞

副理事長兼事務局長
小澤 達夫



新年明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶び申し上げます。

昨年は、“旧 岡崎市民活動支援協議会”から“NPO 法人岡崎まち育てセンター・りた”に移行し、市民自治の観点から地域自治と多様な市民活動を支援し、連携・協働を進めるために積極的な役割を果たすこと、そして「新しい公共」の理念を社会に浸透させ、「持続可能な社会」につながるまち育てを進めていくことを新たな使命として、再スタートいたしました。

皆様には総会等で、計画という形でご説明をさせて頂きました“なごみん”及び“よりなん”の両地域交流センターも本年1月1日をもって指定管理者として認定をいただきました。

今後は、両センターの充実した運営はもとより“りた”の使命を果たすべく、「新しい公共」の理念を基に「持続可能な社会」の実現に向けて積極果敢に挑戦をしてみたいと考えております。

会員の皆様におかれましては、尚一層のご支援、ご鞭撻を切にお願い申し上げます、念頭のご挨拶とさせていただきます。



岡崎まち育てセンター・りた

団体会員(年会費 10,000 円)

個人会員(年会費 3,000 円)

☆ご推薦の団体などお心当たりがありましたらご連絡ください。

事務局 (TEL 0564-45-4560)

会員募集中です!



岡崎コミュニティデザインリーグ（CDL）始まる！

12月17日（日）に、シビコ6階「21世紀まちづくり研究所」にて『岡崎コミュニティデザインリーグ（※1）』が開催されました。これは、岡崎の中心市街地・康生地区の活性化を推進する団体・岡崎城下まち都心再生協議会（以下、再生協議会）が主催したもので、岡崎まち育てセンター・りたは、このまちづくり団体の活動支援を行っていますので、ご報告させていただきます。

『岡崎コミュニティデザインリーグ』は、大学連携によるまちづくり提案発表会です。スタートとなった今年は、合計7つのまちづくり提案が寄せられました（表1）。大学研究室を中心に応募を呼びかけたものですが、結果的に有志市民グループからの発表もありました。これは、これまでの都心再生協議会の活動に参加されている市民の方、更に同じ康生地区に建設が予定されている（仮称）岡崎市図書館交流プラザ「りぶら」のサポーター活動に参加されている市民など、つながりのある方々の参加によって実現したものです。

この発表会の審査員団は、地元（再生協議会、シビコ関係者）、行政（岡崎市、愛知県）、大学（岡崎女子短期大学の学生さん）、第三者機関（学識者、商工会議所）によって構成され、多様な視点から、まちづくり提案としてのユニークさや実現の方向について議論が交わされました。当日の傍聴者と審査員団の議論を経て、2つのグランプリが選び出されました。

一つは、豊田工専・横山チームの「活気あふれる街、生きがいある人生」。都市の顔となる並木道、中心市街地に点在する新旧地域資源のネットワーク化（健康拠点施設、学習拠点施設、歴史拠点施設）、及び岡崎出身の著名人を招いた生き方学び講座など、行く先の見えにくい現代社会に、先導的な役割を果たすハードとソフトの提案が評価されました。



（写真は、公開審査会の様子）

発表会当日は、会場がぎっしりと埋まり、熱気溢れる場となりました。

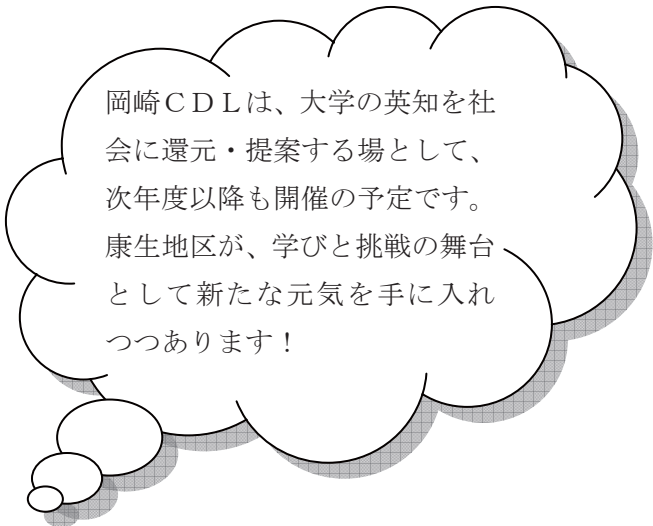
（参考：岡崎CDL設立趣旨より抜粋）

岡崎には3大学1短大があり、中核都市としては比較的多くの大学短大が隣接しています。なおかつ各大学には重複する分野が少なく、多彩な学問を学ぶ学生が多くいます。「より住みやすいまち」の創造には、多彩な分野からの知恵と力が必要であり、そういった面で岡崎に3大学1短大が存在することは、岡崎の財産であり、幸運でもあると言えます。今回、私達は京都での取り組みを参考に、地域と大学が連携する実践の場として「岡崎コミュニティデザインリーグ（以下、CDL）」を設立すべく、同協議会とその活動をサポートする学生グループによって準備を始めました。私たちは、学生が「CDL」に参加することによって学術的な活動が充実し、物事を企画・立案する力の向上も図ることができると考えております。

もう一つは、人間環境大学・青井チームの「CIVIC CODE」です。これは、アメリカの建築家クリストファー・アレグザンダーが提唱するパタン・ランゲージを引用して、岡崎の中心市街地の再編方法に示唆を得るものですが、「市民に分かりやすく、一緒に議論を出来るようにする方法と方向」を提起した点が評価されました。

※1：コミュニティデザインリーグは、京都コミュニティデザインリーグが発祥で、京都府内にある大学の建築・都市計画系研究室がそれぞれ担当の地区を定めて、地区の現状を調査・分析し、地域の課題解決や新しいまちづくりのあり方を提案する研究発表会を意味します。

詳しくは、<http://www.kyoto-cdl.com/>を参照。



岡崎CDLは、大学の英知を社会に還元・提案する場として、次年度以降も開催の予定です。康生地区が、学びと挑戦の舞台として新たな元気を手に入れつつあります！

※2：岡崎まち育てセンター・りた事務局次長の三矢は、愛知産業大学建築学科の設計演習指導をお手伝いさせていただいています。

表1：岡崎CDL2006 発表リスト

発表順	タイトル	発表者	監修者	所属
1	岡崎中心市街地再活性化拠点の運営 (2)21世紀まちづくり研究所を持続可能な岡崎を発信する基地にするには	柴田 祐作		岡崎城下まち都心再生協議会
2	岡崎中心市街地再活性化拠点の運営 (1)岡崎市図書館交流プラザ「りぶら」の「施設づくり」と「まちづくり」への手がかかり	島崎 義治		人間環境大学教授
3	素晴らしき岡崎再認識	木村 剛也		一般
4	活気あふれる街・生きがいある人生 —誇り得るふるさとづくりを標榜する 岡崎人生大学構想	荻原 健 稲越 樹 桜井 充	横山 正登	豊田工専講師
5	学生が育むまちなか居住	藤内 雅江 森 優博 岩ヶ谷 充	三矢 勝司 (※2)	愛知産業大学非常勤講師
6	物語としてのまちづくり	柳瀬 一摩 西ヶ谷千鶴 加藤 雅宣	小杉 学	愛知産業大学講師
7	CIVIC CODE ～パタン・ランゲージを用いた岡崎中心市街地の再構築～	藤巻 泰輝	青井 哲人	人間環境大学助教授

岡崎まち育て情報

…「りた」は岡崎市内各所のまち育て活動を支援し、市民と行政の対話を促進しています。



①「第24回奈良井公園を話し合う会」

日時：1月13日（土）9:30～12:00

場所：竜美南公民館

内容：小学生（竜美丘小、三島小、盲学校が参加）が制作した絵タイトルが、昨年11月に公園内へ設置されました。ローラーブレード場等の整備を経て、今年度で全ての工事が完了する予定です。今後の工事概要と管理運営について話し合います。

②「第6回 りぶらサポーター交流会」

日時：1月20日（土）13:30～16:30

場所：コミュニティサテライトオフィス

内容：平成20年に開館が予定されている（仮称）岡崎市図書館交流プラザ「りぶら」の盛り立てる市民サポーターの交流会、今年度最終回です。これまでのサポーター活動を振り返り、次年度の活動方針を話し合います。

③「第5回大門河川緑地を考える会」

日時：1月28日（日）9:30～12:00

場所：大門学区市民ホーム

内容：小学生の皆さんからいただいた提案を盛り込んで、河川緑地の整備基本計画を公開します。整備計画に市民の意見を反映する良い機会です。是非ご来場下さい。



★「予告 市民活動支援講座始まる！」

地域活動や市民活動をやってみたくて、どうしたらいいのかわからない。自分たちの活動をもう少し多くの人たちに知って欲しい。そんな方にお勧めの講座が始まります（詳細は次号にて）。

日時：①2月9日（金）13:30～16:30

②2月16日（金）13:30～16:30

③2月23日（金）13:30～16:30

場所：コミュニティサテライトオフィス

※各回1回だけでも参加できます。参加費無料。

問合せ先：岡崎市役所市民協働推進課 23-6491

耳寄り情報

…りた事務局機能がパワーアップ。

りた事務局の連絡先が変更になります。

場所はこれまでと同じく、岡崎市北部地域交流センター「なごみん」内にありますが、業務拡大（1月1日より、指定管理者制度に切り替わりました）に伴い独立した電話とファクス、メールアドレスを設置いたしました。今後は、こちらに連絡をお願いします。また、ご関心のある方は、是非お立ち寄り下さい！

電話番号：0564-45-4560

ファクス：0564-45-4560

電子メール：info@okazaki-lita.com

※上記連絡先は、1月11日より稼働

事務局
より

平成19年が始まりました。
基礎固めが進み、活動を大きく展開する一年にします。

〒444-2147 岡崎市西蔵前町字季平45-1
岡崎市北部地域交流センター・なごみん内
NPO 法人岡崎まち育てセンター・りた事務局
☎(0564) 45-4560 Fax (0564) 45-4560